

問題2	1.	事項1	足場の滑動防止に留意し、脚部には敷板を設置し、根がらみを設け、隣接建物および架空電線との離隔を確保できるように計画した。			
		事項2	通行人など第三者に対する落下物等による危害のおそれに留意し、防護柵を設け、周辺環境にも配慮し、防音シート等を設置する計画とした。			
	2.	事項1	リフトの荷台から過積載による倒壊・荷物の落下による危険が生じるおそれがあるため、最大積載荷重を現場に表示し、また囲いを設ける計画とした。			
		事項2	巻き上げ用ワイヤロープの巻きすぎによる労働者の危険を防止するため、巻き上げ用ワイヤロープに標識を付することと、警報装置を設ける計画とした。			
	3.	事項1	複数の工事で多数の車両が仮設道路を使用するので、敷物の設置期間が長くなるため、使用に耐えられるように地盤転圧を行い鉄板を敷く計画とした。			
		事項2	作業所内の仮設道路計画は、建物の形状や作業所外の車道、歩道の通行状況と作業所内での工事車両の動線、作業員の動線を検討する計画とした。			
	問題3	1.	作業内容④	梁型枠組立て		
			作業内容⑦	柱配筋		
		2.	最早開始時期	5		
3.		フリーフロート⑥	5	フリーフロート⑩	0	
4.	総所要日数	24				
問題4	1.	1	切梁及び腹起しは、脱落を防止するため、矢板、杭、等に確実な取り付けに留意した。			
		2	火打ち梁を除く圧縮材の継手は、突合せ継手となるように留意した。			
	2.	1	水平の鉄筋の位置を保持する場合は、バーサポートを使用し、寸法、数量に留意した。			
		2	スラブ筋のスペーサーは、原則として、鋼製のものを使用し、かぶり厚さに留意した。			
	3.	1	コンパネ床に比べ水平剛性が低いので水平荷重に対する倒壊措置を十分に留意した。			
		2	スラブ端部や開口部のコンクリート止め、小口塞ぎ等を取り付けに留意した。			
	4.	1	打重ね時間はコールドジョイントができないように、再振動の時間に留意した。			
		2	棒形振動機は60cm以下の間隔で垂直に挿入し鉄筋等に接触しないよう留意した。			
問題5	1.	4	5.	4		
	2.	3	6.	5		
	3.	3	7.	3		
	4.	2	8.	1		
問題6	1.	①	3	②	1	
	2.	③	3	④	1	
	3.	⑤	5	⑥	4	